

## 第3回：現地取材！

株式会社精興社

印象深い場所を訪ねることは、自分史づくりの資料集めに役立ちます。昔（当時）の写真はアルバムなどにあるかもしれませんが、実際に現地を訪ねることでしか現場感は味わえません。

また、自分史づくりは楽しく作業を進めるべきことであり、その楽しさを最大限満喫できるのが、この現地取材です。

遠方の場合、気軽に訪ねられるものではありませんが、現実的に訪ねられる場所へは何か所も訪ねましょう。

### 現地取材のポイント

#### 1. 準備を怠らない。

目的地を決めたら、具体的にどこを訪ねるのかを計画します。無計画に現地を訪ねて、思いのままに自由に歩き回りたいという方もいらっしゃるかもしれませんが、それはそれで現地取材の楽しみの一つかもしれませんが、この計画などの準備作業も楽しいことです。せっかくの機会なので、楽しめる工程はすべて楽しんでみてはいかがでしょうか。

#### 2. 取材道具でモチベーションを上げる。

必須の道具は、カメラと水筒です。そのほか、ICレコーダー（録音機）とメモ帳・ペンもあると心強いです。取材とは遭遇したことを記録することです。道具をそろえて万全を期しましょう。

また、このように道具をそろえることで、「思い出の地を取材するのだ」というモチベーションアップにつながり、自分史づくりのワクワク感を楽しむことができます。

#### 3. 同行者は？

一人で気楽に楽しむのも良いですが、同行者に思い出を語りながら歩き回るのもまた楽しいことです。また現地のことをよく知らない同行者であれば、客観的な視点から質問を受けたりするかもしれません。それにより、より有意義な現地取材となるかもしれないのです。